

(研究用)

当院は下記の研究を実施しています

記

課題名 全身麻酔・局所麻酔下における眼科精密検査（眼底撮影検査、網膜電図検査、蛍光眼底造影検査、光干渉断層計検査等）を用いた網膜構造・機能の解析

研究の目的・意義

眼の網膜は物を見る際に必要であり、網膜が障害されることは物を見る機能の障害につながります。このように重要な役割を果たしている網膜の構造・機能を調べる検査は眼底撮影検査、網膜電図検査、蛍光眼底造影検査、光干渉断層計検査等の多岐に渡っています。本研究の目的は、成育医療研究センターにおける全身麻酔下・局所麻酔下におけるこれらの眼科精密検査の結果を詳しく解析することにより、網膜の病気の原因やその治療法・効果を調べることです。

研究の方法

当センターにて、2002年～2029年3月までに全身麻酔・局所麻酔下における眼科精密検査を行った患者さんを対象とし、診療カルテから得られた検査の結果を解析します。患者さんに新たにお願いすることはありません。

➤ 調査項目

患者さんの性別、年齢、初診日、全身麻酔・局所麻酔下における眼科精密検査（眼底撮影検査、網膜電図検査、蛍光眼底造影検査、光干渉断層計検査等）の検査結果など

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報とは調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

研究実施機関

国立成育医療研究センター（HPにて概要を掲載 <http://www.ncchd.go.jp/>）

※ ご自身が該当すると思われる方で、解析に加わることを拒否されたい場合は主治医にご連絡ください。